

多治見市保健センターは、「目の愛護デー」の10日午後2時から同市豊岡町のヤマカまなびパークで近視をテーマにした講演会を開く。日本近視



岩瀬愛子院長



生野恭司院長

近視の恐ろしさ知って

学会副理事長でいくの眼科(大阪府)の生野恭司院長が登壇する。たじみ岩瀬眼科の岩瀬愛子院長(62)は、「近視の人は自分の周囲にもいるから大丈夫と考えがちだが、大病の危険性は十分

目の愛護デー多治見で10日講演会

「でも近視や強度近視の有病率の高さが示された。特に強度近視は緑内障や黄斑変性、網膜剝離など失明の恐れもある目の疾患につながる可能性も高い。」

ある。眼鏡だけ作ればいいというわけではないということを理解してほしいと話している。入場無料。問い合わせは同センター、電話0572(23)5960。(松尾法尋)

近視 軽い見方やめて!!

近視が進むと、緑内障や網膜剝離などの病気になるりやすくなる。身近だが将来的な病の危険性がある「近視」をテーマにした講演会が10日、多

治見市豊岡町のヤマカまなびパークで開かれる。市内で実施された疫学調査「多治見スタディ」によると、日本は世界でも近視の専門医で、いく

よると、日本は世界でも近視が多い国の一つ。調



生野恭司さん「写真」が「緑内障」の有病者数を講師を務め、他の目の病「緑内障」の有病者数を調べる目的で、無作為に抽出した四十歳以上の男の愛護デー」に合わせ、女四千人を対象に行われ、三千二十一人が参加した。

多治見で10日 隠れた怖さ解説

たじみ岩瀬眼科(多治見市)の院長で市保健センターの嘱託医を務める岩瀬愛子さん(62)は、調査の担当者だった。「近視は身の回りにも大勢いて、安心してしまいがち。まずは、近視についての正しい知識を持ってほしい」と参加を呼び掛ける。

午後二時開演で、入場無料。同市保健センター 0572(23)5960 (秦野ひなた)